

ALアミロイドーシスの過剰線溶の指標 PICは、本疾患の診断に有用である

研究分担者：熊本大学医学部附属病院血液内科 畑 裕之

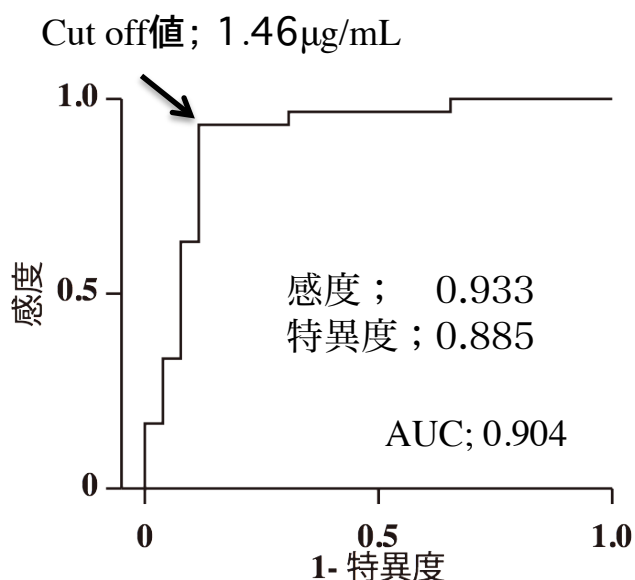


図1
形質細胞異常症を母集団とした場合の
アミロイドーシス合併に対するPICの
感度および特異度のROC解析

表1 形質細胞異常症の骨髄中のuPA陽性形質細胞の有無

uPA陽性細胞	アミロイドーシス		計
	合併	非合併	
(+)	41例	1例	42例
(-)	0例	18例	18例
計	41例	19例	60例

解 説

1. ROC解析を行うとPICのAUCは0.904と良好な値を示す (図1)
2. PICのカットオフ値1.46 μ g/mLで感度93.3%、特異度88.5%と高い値を示す (図1)
3. 骨髄中のuPA陽性細胞はアミロイドーシスではすべての症例で陽性であり、これが過剰線溶の原因と考えられる (表1)